



2022年10月18日

各位

会社名 守谷輸送機工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 守谷 貞夫
(コード番号：6226 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 土屋 寛
(TEL.045-785-3111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,412	百万円 703	百万円 715	百万円 445	円 銭 25 67
今回修正予想(B)	6,817	225	183	121	7 00
増減額(B-A)	△594	△477	△531	△323	—
増減率(%)	△8.0	△68.0	△74.3	△72.7	—

(注) 2022年3月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2023年3月期通期業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,900	百万円 1,750	百万円 1,770	百万円 1,100	円 銭 63 46
今回修正予想(B)	15,700	508	448	282	16 27
増減額(B-A)	800	△1,242	△1,322	△818	—
増減率(%)	5.4	△71.0	△74.7	△74.4	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期通期)	13,885	1,818	1,833	1,145	74 89

(注) 当社は2022年1月4日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施いたしました。前期の1株当たり当期純利益は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

3. 修正の理由

第2四半期累計期間における売上高は、一部の受注済新規設置エレベーター案件の着工が下期にずれ込んだことなどにより、期首予想を下回る見込みです。利益面につきましては、保守・修理の原価率は想定通りとなることが見込まれるものの、新規設置エレベーターの原価率が大幅に悪化したことにより、期首予想を大幅に下回る見込みです。新規設置エレベーターの原価率が大幅

幅に悪化した要因は、鋼材をはじめとする国内・外資材価格の高騰及び、円安の急速な進行による輸入資材価格の高騰になります。国内・外資材価格の高騰につきましては、主に中国、ベトナムからの海外調達品及び国内調達品が、ともに想定以上に価格が上昇しており、例として日本国内での鋼材市中価格は、昨年度平均単価から概ね2割程度上昇しております。また、輸入資材価格につきましては、為替レートを1ドル126円で想定しておりましたが、更に急速に円安が進行したことにより、価格が上昇しました。

通期における売上高は、引き続き堅調な受注環境のもと受注残が積み上がっており、これらが順次着工となること及び、保守・修理売上高が堅調に推移する見込みであることにより、期首予想を上回る見込みです。一方、利益面につきましては、高騰している資材価格や、円安による輸入価格の高騰は、当面高止まりの状況が続くものと予測され、一部資材の国内調達への切替えによる為替影響の排除や、内製化によるコストメリットの追及をしているものの、コストアップ要因をカバーするには至らないことから、期首予想を大幅に下回る見込みです。

4. 配当予想

今回の業績予想修正に伴う、配当予想の修正はございません。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上